

令和2年度 事業報告

令和3年4月1日
おおぞらこども園

1. こども園の運営

(1) 所在地 貝塚市二色2丁目11-1

(2) 定員 90名 (実数112名)

職員配置

(令和2年4月1日現在)

内訳

- ・園長 1名
- ・事務長 1名
- ・主幹保育教諭 2名
- ・副主幹保育教諭 1名
- ・保育教諭 26名

(主幹保育教諭・副主幹保育教諭含む)
(わきはまこども園からの異動職員1名含む)
(産休中の職員2名を含む)

- ・保育補助 1名
- ・管理栄養士 1名
- ・調理員 5名
- ・安全指導員 2名

(淀川食品株式会社所属)
(シルバー人材派遣センター所属)

(3) 園児

- ・定員(2・3号) 90名 (実数104名)
- ・定員(1号認定・新2号認定) 15名 (実数 8名)

2. 教育・保育目標

教育基本法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき「心身ともに健全で豊かな人間関係をもつ子どもの育成」を目指す。
全ての乳幼児に、“等しく” “心身ともに健全な生活と発達” “福祉と教育” を保障すべく愛ある教育と保育の振興と推進を目的とする。

- * 人権を守り一人ひとりを受容する。
- * くつろげる環境の中で体験的遊びを通して総合的な教育・保育を行う。
- * 一人ひとりの発達を理解し、主体活動を重視しながら生活のリズムを大切にす。
- * 国際的視野を持ち家庭的な教育・保育を行う。
- * 安全環境づくりに取り組み地域に根ざすこども園運営を目指す。

- * 教育・保育アセスメントを基にした教育・保育実践の中で、思いやりの心を育み健全な心と体づくりに取り組む。
- * 子ども一人ひとりの可能性を伸ばし、のびのびと遊び自ら考え行動する力を培う。

3. 教育・保育基本方針

笑顔とぬくもりある「大きな家庭・大きな家族」づくりをイメージテーマにし、子どもたちの笑顔溢れる「癒し・励まし・安らぎの場」の中で、「心からの笑顔」と「人を思いやる広い視野と心」を大切に培っていく。

- ・一人ひとりの発達に即した見通しを持ち、保護者や地域の人々との協力体制の中で保育と教育を行う事を目指す。
- ・教育と保育を総合的に捉え、異年齢交流・世代間交流・地域交流・異年齢児交流・地域子育て支援・自然環境との触れ合い等をキーワードにして、幅広い社会性と、教育や素養の一端に触れる機会を設け、慣れ親しみ、将来の知力・能力・洞察力等を育む教育と保育を目指す。

- * 笑顔であいさつができる明るい子ども
- * 人の気持ちがわかり考え行動できる優しい子ども
- * 動植物に親しむ感性豊かな探究心ある子ども
- * のびのびと遊べる元気な子ども
- * 広い視野と健康な心をもつ子ども

幼保連携型認定こども園 教育・保育要領に基づく全体的な計画を中心に、各指導内容の充実を図った。

0歳児

一人ひとりを愛し守りながら、信頼関係と心身の健康な発達を育む教育と保育に努めた。

1・2歳児

親子の愛着関係の形成を支援し、一人ひとりの自我の発達に即した、見通しを持った教育と保育に努め、

3・4・5歳児

知的好奇心や探究心が育み、のびのびと遊び、人を思いやる心・自分で考え行動できる力・健康な体力、そして、豊かな感性を培う教育と保育に努めた。

I 教育・保育時間

- ・保育料 令和元年10月1日より3～5歳児クラスは無償化
- ・副食費（月額）： 2号認定 4,500円 1号認定・新2号認定 3,000円
- * 0～2歳児クラスの保育料・・・貝塚市が保護者様宛にて決定通知書
- 0～2歳児クラスの副食費・・・保育料に含まれる

< 1号認定><新2号認定>

午後3時31分以降の保育は延長保育で別途料金

15:31～16:00	200円
16:01～16:30	200円
16:31～17:00	200円

*新2号認定で保育を希望される場合

期間：お盆期間中： 8/11(火)～8/14(金)

年末年始： 12/25(金)～1/7(木)

春休み： 3/22(月)～3/31(水)

料金：1日 500円(9:00～15:30までの料金)

< 2・3号認定>

保育標準時間の方は、午後6時01分以降の保育は延長保育で別途料金

延長保育料徴収金額一覧表(1名1回利用にかかる費用)

	一般世帯	住民税非課税世帯	生活保護世帯
18:01～18:30	150円	100円	50円
18:31～19:00	150円	100円	50円

*保育短時間

午後5時01分以降の保育は延長保育となり30分毎に150円徴収

*延長保育料金

支払いは月末集計で翌月初めに請求書

*非課税世帯・生活保護世帯で減免利用をお申し出の際は各証明書の提出が必要

○教育・保育内容

今年度の教育・保育共通テーマは「きずな」

一人ひとりがより一層輝き、自信となるよう園生活の充実に努めた。

<各クラス研究課題>

子どもたちへの発達段階などを踏まえた教育・保育環境を整え、研究課題をもって下記の保育と教育に努めた。

あひる組 五感を育てる

ひよこ組 言葉を育む

つばめ組 粘土遊び～指先を使った遊びを通して～

ひばり組 製作造形遊び～全身で楽しもう～

かもめ組 感触遊び

はと組 不思議発見遊び

令和2年3月13日（土）に園内研修で研究課題について発表を行った。

（パソコン6台とパワーポイントを使用して研修の充実に努めた。）

その成果は、令和3年6月にホームページで研究内容を公開予定である。

<具体的な取り組み>

くつろげる環境の中で自分の好きな事、あるいは得意な活動を自ら選ぶ事ができる総合的な教育・保育カリキュラムに努めた。

クラスデイ : それぞれの年齢に分かれた通常クラスでの設定遊び

おおぞらカフェ : 自ら興味関心のある遊びを選択する。

ネイチャーデイ : 立地を活かした、自然や身近な社会との触れ合いと遊び。

フュージョンデイ : コーナー保育を活かした全年齢シブリング（兄弟・姉妹交流）

※ファミリー活動・土曜日保育等

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため全年齢シブリングの活動を控えた。

○教育・保育主体的遊び

3・4・5歳児クラス

<おおぞらカフェ>…ピラミッドメソッド（3・4・5歳児クラスの縦割り保育）

ピラミッドメソッド保育カリキュラム《旧オランダ政府教育評価機構にて開発》

おおぞらカフェの前日、各クラスでサークルタイム(担任を中心に円形になって座り話し合う時間)を行い、3・4・5歳児クラスのどこのお部屋でどんな遊びをしたいかを自分で選択し、各クラス名が明記された白板に自分の名前のマグネットを貼り、翌日子どもたちは遊びを楽しみに登園する。

当日各クラスのお部屋のコーナー遊びを楽しみ、食事の時間になるとテラスにセルフサービス式のレストランがオープンする。(素敵なお音楽・花や観葉植物と共に食事を頂く)今年度から、管理栄養士がレストランで配膳のお手伝いを行った。

保育終了時(夕方)にも同じようにサークルタイムを行い、今日の活動内容等を伝え合った。

このようにサークルタイム後に、遊びを選択し、遊ぶ・食事をするという活動を、無理なくゆったりとした環境の中で行った。



目的

○一人ひとりを大切にする事

○豊かな感性を養う教育・保育

○将来、自立して人生の課題を処理する事が出来るように発達を促し、「指示を待つ」事がなく、登園後の自由遊び・サークルタイム・子どもがしたい遊びを見つけて遊ぶ・食事という活動を、無理なくゆったりと展開出来るように努めた。

*環境保育を中心に展開

各クラスままごと・知育・ブロック・絵本コーナー等のコーナーの充実に努めた。

0歳児・1歳児クラスの担当制保育の充実に努めた。

*フェアリーキッズ（自然野外活動）

自然遊学館のご協力のもと、フェアリーキッズ活動を行った。
 自然環境に恵まれている市民の森にて、子どもたちが木登り、秘密基地造り等自然環境のもとで様々な体験を行った。
 今年度は新型コロナウイルス感染症のため、お弁当は食わずに午前中のみ活動となった。
 (きしわだ自然資料館も今年度は使用していない。)

○知育

4・5歳児クラス

・SIあそび

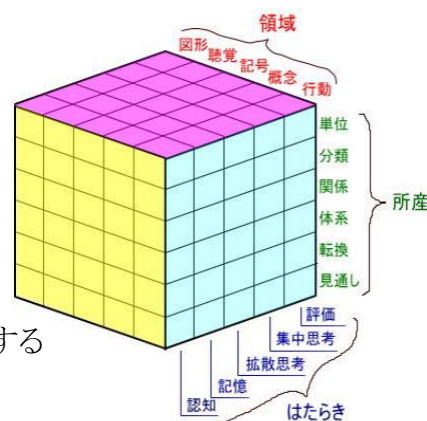
基本的に知育は、身近な生活から、聞く力・考える力・好奇心・意欲等を基準に取り入れているが、4・5歳児クラスは、創造性教育の先駆者 J. P. ギルフォード博士の「知能構造SI 理論」に基づくSI あそびを使用する。思考力・創造力を育てる事を目的に、人間としてたくましく生きる力、自ら考え、自ら気づく力を育てる教材である。「SIあそび」は『できた・できない』という「結果」ではなく、子どもが何を考え、感じて行動するかという「過程」を重視する遊び。

知能が処理する情報(領域)

- 図形 ……形・図形
- 記号 ……文字・数・マーク類
- 概念 ……言葉・文・絵の意味・理論・物の性質
- 行動 ……人間の感情・意思・心理

知能の働き

- 認知 ……理解する・発見する・認識する
- 記憶 ……記憶・再生
- 拡散思考 ……新しい事を思いつく・自由に滑らかに考え工夫する
- 集中思考 ……推理する・追求する・理論的に考える
- 評価 ……比較判断・選択・批判



ギルフォード博士の「知能構造モデル」は5つの領域、5つのはたらき、6つの所産の組み合わせで構成されており、計150の知能因子を想定している。

・硬筆

4・5歳児クラス

4歳児クラスは年間17回で、最初は鉛筆に慣れ、鉛筆の正しい持ち方(クジャク法)から始まり、クルクル・ギザギザと書き、おもしろいと感じられるように進めた。

鉛筆の正しい持ち方・姿勢・お手本(小学校教科書のひらがなを使用)・4つのお部屋(1・2・3・4)外形(三角形・四角形・長方形等)・ボディワンワールド指導・呼吸法などを取り入れた。

(ひらがなプリントは当園独自で作成)

5歳児クラスは年間20回で、10月頃までに清音を終了し、その後、絵カード遊び・日記を書

く・絵本を読み感想文と発表を行った。(文章の作成)、文章理解に繋げた。
また、年に8回習字を導入し、楽しみながらも緊張感を持って進めた。
貝塚市民の歌を布に習字で書き、駅前のスーパーマーケット前に展示した。

○おおぞらステップ

5歳児クラス

その他の知育遊びとして、おおぞらステップを年間10回行った。
おおぞらステップカリキュラムは通常の活動にも連携して展開出来るように努めた。
木製100玉そろばんをお部屋に1個置き、数を数える・大小等を遊びの中で学んだ。
(一人1個のそろばんを使用して数の概念を身に付けた)



○アトリエ工房

3・4・5歳児クラス

年間を通じて3・4・5歳児が同じテーマで製作を行った。(初めての取り組みのカリキュラムであったが、個々で遊びを選択して進めていた。)

○英語遊び

4・5歳児クラス

指導者の紹介

My name is Melissa Dunstan but everyone calls me Melissa. I'm from the USA.
I came to Japan in 1995 and have worked as an English teacher ever since.
I teach a variety of classes from kids to adults. I'm also an English narrator.
I narrate English textbooks, school listening tests, train announcements etc.
I'm very excited to teach your children starting in April and I hope to meet you soon!



《私の名前はメリッサ・ダNSTANです。皆はメリッサと呼んでいます。
アメリカ出身で、1995年に日本に来て以来、英語教師として働いています。
子どもから大人まで幅広いクラスで教えています。私はまた英語のナレーターでもあり、英語テキストやリスニング・テスト、電車内放送等々、多数の収録をしています。》

4歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Hello, how are you? What's your name? How's the weather?

There is thunder. Where is father? I can sing a rainbow.

Heads, shoulders, knees and toes. Walking, walking.

Sunday, Monday, Tuesday. Twinkle twinkle, little star. Old Macdonald had a farm.

《今日のテーマ 色・動物・買い物・果物・野菜・服・天気・身体・動詞・曜日・家族のみんな
家の中の物 a,b,c,d,e,f,g,……. の発音・ゲーム》

5歳児授業内容

あいさつと自己紹介

歌 Let's go shopping. There were 10 in the bed. Do the hokey pokey.

Doe, a deer, a female deer. We wish you a merry Christmas.
The wheels on the bus go round and round. You are my sunshine.
You fill up my senses. The animal song..

今日のテーマ・乗物・仕事・時間・I get up at 7:30・一日のする事

- ・I get up and wash my face. できる事 I can play the piano
- ・形容詞と比較する事 Which is faster・場所教える事 It's on the table.
部屋の名前 町のいろんなところ Hospital, Library, etc
- 職業 I'm a doctor. 英語の読み方・ゲーム

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、英語の参観を中止して、ホームページで動画で公開した。

○げんき工房

1・2・3・4・5歳児クラス

1・2・3歳児クラスは、各年齢に応じた目標を設定し、マット・鉄棒・運動棒・跳び箱等を使用した。当園独自のカリキュラムを作成して取り組み、4・5歳児は、ゲーム感覚で楽しみながら筋力や体力をつけていけるようなカリキュラムを作成し、4歳児は壁倒立、5歳児は三点倒立を目標に取り組んだ。

○体育指導

4・5歳児クラス

体育指導の指導員とも連携をとり、当園独自のげんき工房と、体育指導が各々の関連性を取り、効果的な指導内容となり体力強化に繋がった。

*2歳児クラスは園庭で、ランニングは出来たが、3・4・5歳児クラスは新型コロナウイルス感染症のため、第五中学校の校庭でランニングは中止した。

○わきはまこども園との園児交流（5歳児クラス）

田舎体験「紀泉わいわい村」・プール遊び・雪遊び「六甲山スノーパーク」・音楽鑑賞等新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

○園外保育

- *0歳児～5歳児までの散歩等戸外活動を通して、自然と触れ合う事を重視した活動を取り入れた。
- *年2回バスを利用した郊外保育実施（5歳児クラスのみ紀泉わいわい村）

○食育の取り組み

- ・食育活動を家庭や地域へのアピールに努めた。
（おおぞらレシピを月別に冊子にして、浜手地区公民館で配布）
浜手地区公民館お知らせボードに給食だよりを掲示した。
- ・ホームページで「今日の給食」の画像を追加し、職場からでも見る事が出来るように充実を図った。食育の内容を毎月19日前後に実施した。
- ・異文化食育活動に努めた。

- ・給食だよりで給食メニューを一部写真で解りやすくし、月平均栄養価に加え、毎日のエネルギー量を掲載した。
- ・離乳食の充実を図った。
- ・給食を淀川食品株式会社に移行し、充実した給食に取り組んだ。
- ・給食会議
園内の給食会議で給食メニュー等の改善に努めた。(各月1回)
- ・年間食育計画に基づいた取組みを行った。(アレルギー対応に努め充実)
- ・管理栄養士が給食メニューの改善(新メニュー)・栄養面・健康に至るまで食の工夫に努めた。
- ・試食会(新型コロナウイルス感染防止のため中止)

○給食メニューについて(管理栄養士より)

園の給食は、成長期の子どもたちが1日に必要とする栄養素のおよそ40%～50%を補える献立となっております。これに基づき、旬の食材を使用し、素材そのものが持つ味を活かした薄味調理を行っています。補食として大切なおやつには、カルシウムや鉄分を意識したものを積極的に取り入れています。また、節旬には行事食を取り入れる等、給食を通して、日本の和食文化を子どもたちに伝えていきます。毎月の給食だよりには、給食室からのお知らせや栄養メモ、給食の献立レシピを掲載しております。献立レシピは、浜手地区公民館とのんびりルームにも置く予定にしておりますので、給食だよりと合わせて是非ご家庭でゆっくりとご覧下さい。



○年間行事

予定していた行事がほとんど新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

- ・5歳児クラスのディキャンプの代わりに、11月に紀泉わいわい村で里山体験に変更した。
- ・夕涼み会の代わりに、一週間おおぞらフェスティバルに変更した。
- ・運動会5歳児クラスのみ保護者参加とした。
 - 3・4歳児クラス・・・園児のみ平日に第五中学校校庭で開催
 - 2歳児クラス・・・園児のみ平日に園庭で開催
- ・参観日の代わりに、動画で保育の様子を公開した。(パスワード有り)
- ・硬筆・おおぞらステップも動画で公開した。(パスワード有り)
- ・健康診断年1回
- ・ミュージックフェアの場所がコスモシアターから園の保育室に変更して開催
ホームページの動画でスライドショーを公開した。(パスワード有り)

- ・ 5歳児クラスの体育指導の雪遊びの代わりに、お別れ遠足として3月に紀泉わいわい村に里山体験に変更した。

○避難訓練（防犯訓練）

月	災害状況	ねらい
4月	軽度の地震発生	地震に対する避難方向を理解する
5月	給食室から出火	給食室出火時の避難経路を知る
6月	給食室から出火	給食室出火時の避難経路を速やかに避難する
7月	地震で給食室から出火	給食室出火時の避難経路を速やかに避難する
8月	非常階段倉庫から出火 (職員に知らせない)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞く
9月	軽度の地震発生	地震に対する避難方向を理解する
10月	地震訓練 (職員に知らせない)	設定状況を知らせず、避難訓練を行う
11月	給食室から出火 消防署立会い訓練)	給食室出火時の避難経路を速やかに避難する
12月	地震訓練 (職員に知らせない)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やかに避難する
1月	地震に伴う津波訓練	地震に対する避難方向を理解する 保育教諭の指示で避難場所に避難する
2月	南側住宅から出火 (職員に知らせない)	合図を聞き分け保育教諭の指示を聞き速やかに避難する
3月	地震に伴う津波訓練	地震に対する避難方向を理解する 保育教諭の指示で避難場所に避難する

職員に開始時間を知らせない避難訓練や、年1回貝塚市立第五中学校の校舎3階までの避難訓練を実施。(津波発生を想定した避難訓練では貝塚市立第五中学校まで、通常約5分で避難完了する。)

○外部講師依頼

手話講師・絵画指導（アトリエ・ズガ）

○わらべ歌の充実

保育教諭が作成したわらべ歌12カ月シリーズのCDを基本に活用した。

○絵本の充実

のんびりルームに新刊93冊を追加した。貝塚市移動図書館は新型コロナウイルス感染防止のため活用していない。絵本の救急箱を活用した。

昨年度に購入した絵本の紹介を冊子にした。

○歌唱指導

月に1度職員が4・5歳児クラスを対象に、音程・発音・呼吸・顔の表情や姿勢等を主に指導した

4. 子育て支援事業の充実

二色小学校

- ・貝塚市立二色小学校職業講話等担当した。
- ・年長児が、園だより・給食だよりを小学校に届け、子どもたちが校長・教頭先生から小学校での生活の様子を聞く（園だより、給食だよりは小学校玄関で掲示）
- ・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画を持参し指導内容の連携に努めた。

第五中学校

- ・津波に伴う平日の避難訓練を平成3年1月15日(金)第五中学校の校舎に避難した。

公民館

- ・公民館のおおぞらブースに、子育てのアドバイス・園だより・給食だより・おおぞレシピの冊子等のお知らせを掲示して、子育て支援の援助を行った。

その他

- ・園児の作品展示を貝塚駅前のスーパーマーケット前に展示した。
- ・年2回すこやかネット会議に参加した。（教育協議会・学校支援地域本部）
- ・貝塚いぶき作業所との交流
陶芸活動参加
- ・地域機関紙(パコネット)に当園の記事の連載
- ・あひるのこ劇団の公演を年2回行いホームページで動画発信した。

新型コロナウイルス感染防止のために中心にした事業

- ・こども園体験事業（スマイルキッズ・園庭開放《絵本の貸出》・グルメランチ）
- ・おもちゃ広場（2年生と年長児）・社会見学（4年生来園）
- ・3月11日（木）第五中学校の校舎に避難
- ・第五中学校3年生と4・5歳児クラスがふれあい遊び
- ・5歳児クラスが公民館で子どもロビーコンサート
朝のランニング
- ・公民館主催の人形劇鑑賞会に出演する（おおぞら劇団）
- ・茶道クラブとの交流
- ・育児相談
- ・外部からのコンサートを開催
- ・盆踊り大会
- ・地域シニア世代交流
うぐいすクラブ（シニア世代の方々と園児が遊びを楽しむ）
老人施設を訪問
- ・二色校区福祉委員会に参加
- ・常任委員会に参加

- ・いぶき祭りに園児の作品を展示
- ・大阪しあわせネットワーク事業 オール大阪社会福祉法人により社会貢献事業
スマイルサポーター〈4名〉活動

5. 職務担当

- ・カリキュラム・デイリープログラム等については、園長・主幹保育教諭・保育教諭が子どもの年齢と発達に応じた内容を協議検討し作成し、行事・月当番等担当保育教諭を定め、園長は総指揮に努めた。
- ・運営事務全般等は事務長が総指揮に努めた。
- ・管理栄養士のもと調理員は調理を行い、能率よく総指揮を取った。
- ・給食職員・学校医・薬剤師・歯科医・安全指導員・英語指導員・体育指導員は外部委託契約

6. 教育・保育設備

- ・教育・保育環境の備品の設備と充実を図った。
- ・送迎時タッチパネルで、能率のよい運営を図った。
- ・緑化推進に努めた。(ピクニックテラスの充実)
- ・教育・保育環境備品の設備と充実を図った。
- ・午睡用コットを3・4歳児クラスに導入した。
- ・大型遊具を重点的にメンテナンス業者に委託し安全管理を図った。
- ・事務所3台のパソコンを5年リースにて更新、業務の効率を図った。
- ・給食備品の設備充実を図った。(お皿の購入)
- ・用具及び備品の充実を図った。(熱中症暑さ指数計)
- ・砂場の砂を追加
(1ヶ月に一度園庭の砂の消毒を職員が実施した。)
- ・地域コーディネーターとの連携(保育室の玩具等作製を一年分の注文表として提出)
- ・空気清浄機・水式空気清浄機・玩具消毒機械・手の消毒機械等購入
- ・4歳児クラスに個人用のミニキーボードを26台購入した。
- ・紫外線衛生保管庫(4・5歳児クラス歯ブラシ使用)
- ・個人用机購入(5歳児クラス20台)
- ・非接触型電子体温計
- ・消毒保管庫
- ・ミニキーボードを26台
- ・紫外線衛生保管庫(4・5歳児クラス歯ブラシ使用)
- ・空気清浄機(2台購入)・水清浄機(2台)
- ・個人用机購入(5歳児クラス20台)
- ・非接触型電子体温計
- ・午睡用コット(3・4歳児クラス)
- ・消毒保管庫

- ・自動消毒機械
- ・アクリル板パーテーション
- ・コップ除菌庫
- ・自動消毒機械
- ・アクリル板パーテーション
- ・コップ除菌庫

○資金の計画

- ・委託費収入と補助金収入で円滑に努めた。
(施設機能強化事業補助金・子育て支援保育士事業補助金)

○その他

- ・ホームページをリニューアルしてより教育・保育内容の公開に努めた。
- ・ホームページにて財務諸表、現状報告書、総括表、事業計画書、事業報告書、苦情報告を公開。
- ・保護者の速やかな降園のために、玄関に設置しているデジタルフォトフレームでの教育・保育活動写真の公開回数の減少
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に伴う自己評価（保育者・設置者）のリーダーとしてのコーディネーター習得
(幼保連携型認定こども園教育・保育要領自己評価実践園認定)
- ・園だよりの裏面に教育・保育の様子の写真を連載
- ・園規定等の見直し
- ・職員福利厚生の充実
- ・職員体制の改善
- ・研修の充実（キャリアアップ研修に参加）
オンライン研修を中心に受講
- ・職員休憩時間の確保
- ・寄贈（双葉産業）

○別紙参照書類

- ・職員名簿・園児名簿
- ・年間行事
- ・幼保連携認定こども園教育・保育要領に基づく全体的な計画
- ・体育指導
- ・げんき工房
- ・各クラスの運動遊び
- ・おおぞらカフェ
- ・園外保育
- ・健康指導計画
- ・食育指導等